

# A 男女の地位に関する意識

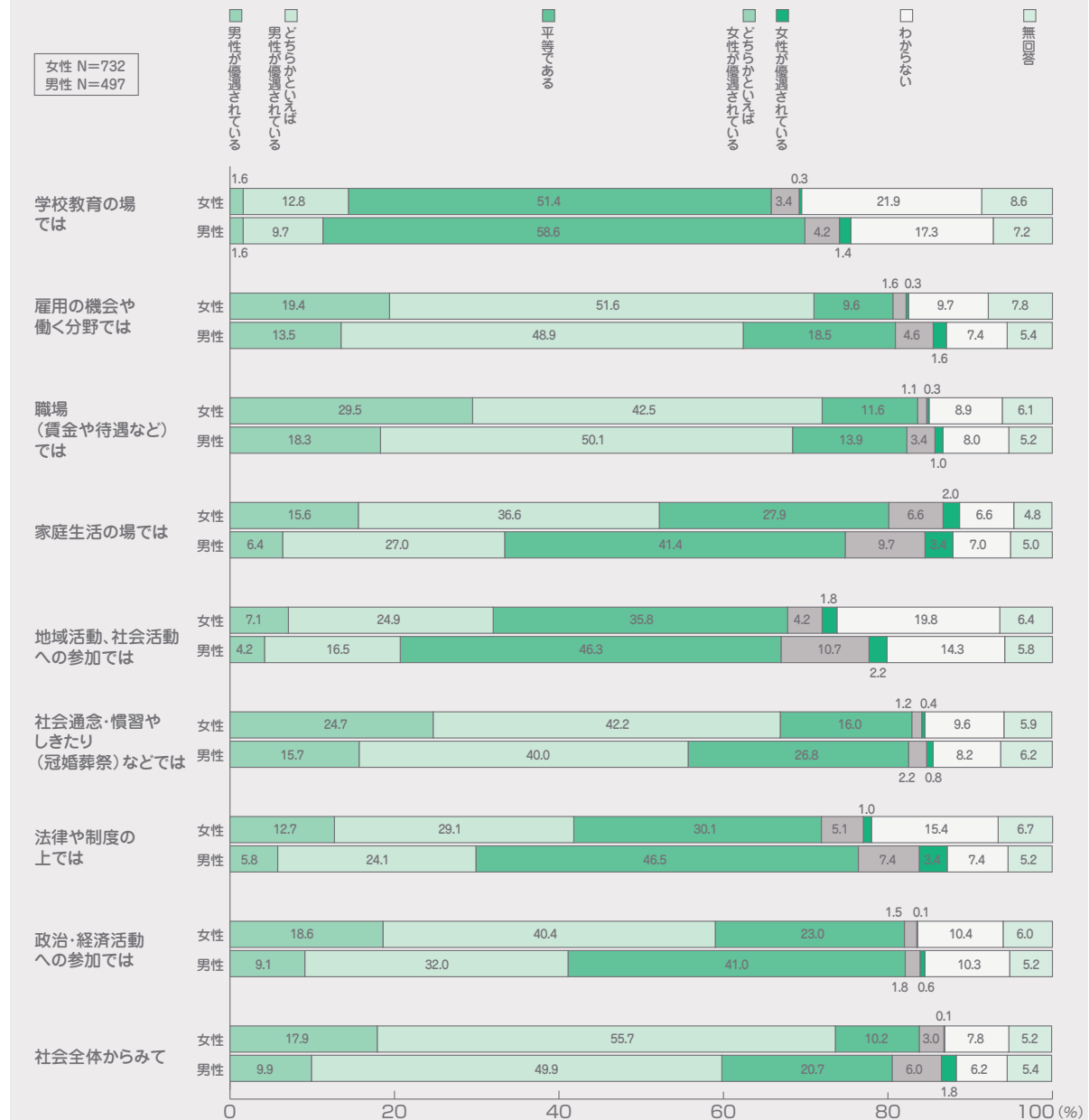
## ① 各分野の男女の平等

### 家庭生活の場における平等について、男女の意識の差が大きい

各分野とも、男女が平等であると感じているのは男性に多く、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』と感じているのは女性の方が多くなっています。特に「家庭生活の場」と「政治・経済活動への参加」において、男女の意識の差が大きく表れます。

「雇用の機会や働く分野」「職場（賃金や待遇など）」「社会通念・慣習やしきたり」「社会全体」の分野でも、「男性優遇」と考えられています。「学校教育の場」では、男女とも半数以上が「平等である」と考えています。男女平等を実現するには、男女がお互いに理解を深めることが重要です。

### ■ 次の各分野において男女の地位は、平等になっていると思いますか。



## ② 性別役割分担意識

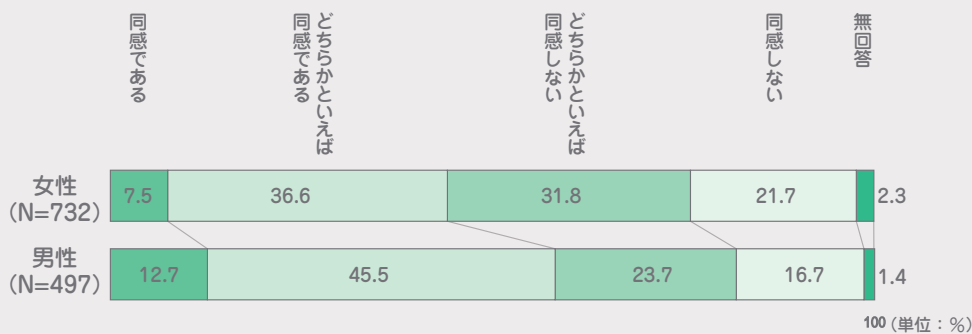
### 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、半数以上の女性は「同感しない」

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感である」と「どちらかといえば同感である」を合わせた『同感する』は、女性では約4割で、男性では約6割です。「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」を合わせた『同感しない』は、女性が約5割、男性は約4割で、女性の方が性別役割分担について否定的な意見を持っている割合が高くなっています。

また、年齢層が高いほど、男女とも『同感する』が多くなる傾向があります。

「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって役割を固定する考え方は、一人ひとりの個性を大切にすることの否定につながります。個性を尊重し、女性も男性も自分らしく生きていくことが重要です。

#### ■「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。



## ③ あらゆる分野でもっと平等となるために

### 「様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が重要

男女平等となるために重要と思うことは「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」という意見が男女ともに最も多くなっています。

女性の経済的自立を実現するための「就業支援」や「女性自身の経済力、知識・技術の習得」を重要とする考えは、男性よりも女性に多くなっています。

男女平等を実現するには、偏見や固定的な考え方を解消することが重要ですが、女性が収入を得る仕事をすることも大切な要素です。そのためには、女性が働き続けるための環境の整備が必要です。

#### ■今後、男女が社会のあらゆる分野で、もっと平等になるために最も重要と思うことは何でしょうか。

